

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・プール遊びの決まりや流れを身に付ける。 ・栽培物に興味、関心を持つ。 ・健康に必要な習慣を身に付ける。 	子どもの姿	<p>支度は、自分から進んで行っている。遊んだ後の片付けが不十分な子が多いので、その都度声を掛けたり全員で片付ける機会を設けた。プールが始まり、シャワーの支度と区別があいまいな子もいるので、様子に応じ手伝っていった。</p>	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・6日(金)七夕 ・9日(月)笹送り ・11日(水)サッカー教室 ・12日(木)英語、杉6小学校 ・19日(木)お誕生日会、身体測定 ・20日(金)お話し会・26日(木)英語 ・27日(金)避難訓練
子どもの活動		環境構成		保育者の援助及び配慮	
養護○生命・情緒／教育○健康・人間関係・環境・言葉・表現	<p>【養護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休息を十分にとり、健康で快適に過ごす ・こまめに水分をとり、熱中症などに十分注意をする。 ・自分の気持ちや考えを安心して表す。 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事と身体の関係について興味を持つ。 ・シャワーやプールの準備や後始末を行う。 ・様々な場面で、自分の思いを伝えたり他児の思いも聞く。 ・遊具や用具を大切に扱い、用途に応じ適切に整理整頓をする。 ・夏の自然事象への興味や関心を持つ。 ・七夕の由来に触れ親しみ、伝承行事を楽しむ。 ・さまざまな絵本や紙芝居や素話を楽しみ、感じたこと思った事を伝え合う。 ・見たこと、感じたことを色々な素材や用具を使い表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて休息がとれるように、保育室の環境を工夫する。 ・保育室内の温度や湿度に配慮する。 ・インタビューごっこや子どもの話したい気持ちに応じ、場を設ける。 ・絵本や紙芝居を用意し、食事と身体の関係について話す場を設ける。 ・分かりやすく図や文字などで示し、掲示する。 ・子どもが話しやすいように、ゆったりした気持ちで受け止めたり、他児の会話を楽しむ時間を確保する。 ・片付けしやすいように、玩具の量を考慮したり、置き場を明確にしておく。 ・図鑑を用意する ・由来を分かりやすく説明する。 ・様々な紙芝居や絵本を用意する。 ・様々な素材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の体調を把握し、異常が見られたら看護師に報告し連携を取る。 ・子ども一人一人の様子や活動量に応じ、水分補給の声掛けをしたり一斉に飲む場を設ける。 ・自分の思いをうまく出せない子には、ゆったりした雰囲気や表情で思いを汲み取り、言葉を補ったりする。 ・看護師と連携を取り、うがい手洗いの大切さや身体のしくみなど話す場を設ける。 ・子ども一人一人に様子に応じ、声を掛けたり一緒に行っていく。 ・一人一人が安心して自分の思いを出せるように、保育者が見守ったり子どもの気持ちを受けとめ、他児の思いも分かりやすく伝えていく。 ・子どもたちの様子に応じ、声を掛け気付けるようにする。また、片付けの必要性を分かりやすく説明していく。 ・子どもたちの発見や驚きに共感したり、保育者も発見したことを子どもたちに伝え一緒に楽しむ。 ・七夕の由来を分かりやすく伝えたり、異年齢との関わりを通していたわりの気持ちが育まれるようにする。また、小さいクラスの接し方を保育者が手本を示していく。 ・絵本と一緒に見たり、子どもの発見や驚きに共感しながら調べたり、発見する楽しさが味わえるようにする。 ・子ども一人一人のイメージを大切に、何を作っているのか見守りながら必要に応じ手伝ったり、自分で作った満足感が味わえるようにする。 		
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜の栽培物の成長を通し、食べ物への興味を広げる。 ・食事のマナーを守り食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の水やりの時に、観察する時間を設ける。 ・マナーを分かりやすく、図で表示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの気付きを大切にしながら、保育者も一緒に観察し変化を伝えたり、子どもたちの気付きに共感する。 ・マナーは、保育者が率先して手本を示していく。子どもたちの食事の楽しい雰囲気大切にしながら、必要な時は声を掛けていく。 		
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・汗をかいた時にどうするか、また、衣服の調節について伝え、自分で行なえるようにする ・道を歩く時には、自分で左右を確認する、道の端を歩くなど、危険な所を意識して歩けるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩のルールを図などで表示。 ・脱いだ衣服のたたみかたを表示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体を清潔に保つことの大切さを伝える。また、汗を拭くことや着替えることを自分で意識して行なえるように促していく ・道の歩き方、集団での行動の仕方を再確認し、身につくような関わり方をしていく 		
家庭・地域・小学校との連携		月の反省		自己評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健康状態や様子について報告し連携を取り合っていく。 ・杉6小学校の教員と連携を取り、シャボン玉遊びが楽しめるようにする。 		<p>シャワーだけの時は、支度の流れを理解している子は多かったがプールが始まり、支度の仕方が変わり戸惑ってしまう子が出てしまったので反省する。玩具の片付けについては、遊んだままになった玩具を誰が遊んでいたか見逃してしまい子どもたちに聞くことがあった。</p>		<p>シャワーとプールの支度の仕方を、見直して分かりやすいように考慮する。また、流れが二転三転しないように流れを定着させていく事。玩具については、子どもが今、何の遊びをしているか十分に把握する事。また、夏野菜の水やりがおそろそかになってしまい反省。</p>	